

岡田利規が主宰する演劇カンパニー「チェルフィッチュ」が ソウル国際舞台芸術祭にて現地アンサンブルと共演！

～ソウルにおいて「日韓国交正常化 60 周年事業」として開催～

国際交流基金（JF）は、韓国・ソウルで開催される「ソウル国際舞台芸術祭（SPAF）」において、日本の演劇カンパニーであるチェルフィッチュによる作品『リビングルームのメタモルフォーシス』を上演します。本公演は、日韓国交正常化 60 周年を記念して実施するものです。

本作品は演劇作家・岡田利規と作曲家・藤倉大によるコラボレーション作品です。独特な言葉と身体の関係性を軸に方法論を更新し続けるチェルフィッチュが、演劇と音楽のパフォーマンスを舞台上に並置することにより、言葉と音の関係性の新しいありようを提示します。オーストリア最大級の国際フェスティバルであるウィーン芸術週間からの委嘱に端を発した作品で、2021 年度の JF による舞台芸術国際共同制作事業において制作を開始、ワークインプログレス公演を実施しました。その後、2023 年に世界初演欧州ツアー、2024 年に東京、2025 年には神戸、愛知と公演を重ねています。

今回のソウル公演では、現地のアンサンブル「SYMPHONIC ARMONIA」が演奏を担当し、チェルフィッチュの俳優陣とコラボレーションします。

このたび参加する「ソウル国際舞台芸術祭（SPAF）」は、2001 年から毎年秋に開催している韓国を代表する国際舞台芸術フェスティバルです。2022 年にチェ・ソッキュ氏がディレクターに就任。チェ・ソッキュ氏は、アジア地域のプロデューサーのネットワーク構築プログラムであるアジア・プロデューサーズ・プラットフォーム（APP）を組織するなど、アジアの舞台芸術関係者のネットワーキングに尽力してきた人物です。

韓国を代表する国際舞台芸術祭における本公演の実施を通じて、さらなる日韓交流の発展を期待します。



©前澤秀登

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

公演概要

上演作品	チェルフィツチュ×藤倉大 with SYMPHONIC ARMONIA 『リビングルームのメタモルフォーシス』
出演	青柳いつみ、朝倉千恵子、石倉来輝、川崎麻里子、矢澤誠、渡邊まな実 演奏：SYMPHONIC ARMONIA
日時	2025 年 11 月 1 日（土）19 時～ 11 月 2 日（日）19 時～
上演時間	80 分
上演言語	日本語
字幕	英語、韓国語
会場	大学路芸術劇場・大劇場（Daehakro Arts Theater Grand Theater）
ウェブサイト	http://spaf.or.kr/2025_eng/program/program_view08.php
主催	国際交流基金（JF）、ソウル国際舞台芸術祭（SPAF）



2021 年度の舞台芸術国際共同制作事業におけるワークインプログレスの様子は JF の舞台芸術オンライン配信サイト「STAGE BEYOND BORDERS」よりご覧いただけます。

⇒ <https://stagebb.jpif.go.jp/stage/work-in-progress-for-music-theatre-production/>

また 2024 年 9 月に行なわれた東京公演は、「THEATRE FOR ALL」にて配信されています。

⇒ <https://theatreforall.net/movie/metamorphosis/>

公演情報詳細

⇒ <https://chelfitsch.net/activity/2025/07/2025seoul.html>

* 翌週 11 月 8 日（土）・9 日（日）には、チェルフィツチュによる『消しゴム山』が国立現代美術館ソウル館にて上演されます。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

プロフィール

【チェルフィッチュ】

岡田利規が全作品の脚本と演出を務める演劇カンパニーとして 1997 年に設立。2007 年クンステン・フェスティバル・デザール（ブリュッセル、ベルギー）にて『三月の 5 日間』を上演、初めての国外進出を果たす。以降、アジア、欧州、北米、南米あわせて 90 都市以上で作品を上演し続けている。フェスティバル・ドートンヌ・パリ（フランス）、ウィーン芸術週間（オーストリア）など世界有数のフェスティバル・劇場の委嘱および国際共同製作による創作も多数。

近年は、スクリーンに投影された映像が人の感覚に引き起こす作用によって展示空間を上演空間へと変容させる試み〈映像演劇〉を舞台映像作家・山田晋平氏とともに始動、2018 年に演劇公演／展覧会『渚・瞼・カーテン チェルフィッチュの〈映像演劇〉』（熊本市現代美術館）を発表。

音楽家や美術家とのコラボレーションも積極的に行い、2019 年・2020 年には美術家・彫刻家の金氏徹平とのコラボレーションによる『消しゴム山』（KYOTO EXPERIMENT）『消しゴム森』（金沢 21 世紀美術館）を発表。2023 年には作曲家の藤倉大とのコラボレーションによる『リビングルームのメタモルフォーシス』（ウィーン芸術週間）を発表。



©Kikuko Usuyama

【岡田利規】

演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。

その手法における言葉と身体の特徴的な関係が注目され、2005 年『三月の 5 日間』で第 49 回岸田國土戯曲賞を受賞、同年 7 月『クーラー』で「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005—次代を担う振付家の発掘—」最終選考会に出場。2013 年に演劇論集『遊行 変形していくための演劇論』（河出書房新社）を刊行。

2016 年からはドイツの公立劇場レパートリー作品の作・演出も継続的に務める。

2020 年『掃除機』（ミュンヘン・カンマーシュピーレ）および 2022 年『ドーナ（ツ）ツ』（ハンブルク、タリア劇場）でベルリン演劇祭（ドイツ語圏演劇の年間における“注目すべき 10 作”）に選出。

タイの現代小説をタイの俳優たちと舞台化した『プラータナー：憑依のポートレート』で第 27 回読売演劇大賞・選考委員特別賞を受賞。能のナラティブの構造を用いた『末練の幽霊と怪物 挫波／敦賀』（KAAT 神奈川芸術劇場）で第 72 回読売文学賞・戯曲・シナリオ賞及び第 25 回鶴屋南北賞受賞。2021 年には『夕鶴』（全国共同制作オペラ）で歌劇の演出を手がけた。

小説家としては、2007 年に『わたしたちに許された特別な時間の終わり』（新潮社）を刊行。第 2 回大江健三郎賞受賞。2022 年に『ブロッコリー・レボリューション』（新潮社）で第 35 回三島由紀夫賞および第 64 回熊日文学賞を受賞。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp



©SISI BURN

【藤倉大】

大阪府生まれ。15歳で単身渡英しJ.ベンジャミンらに師事。これまでに数々の作曲賞を受賞、国際的な委嘱を手掛ける。オペラの国際評価も高く、2015年にシャンゼリゼ劇場、ローザンヌ歌劇場、リール歌劇場の共同委嘱による《ソリス》を世界初演。20年に自身3作目のオペラ《アルマゲドン》が新国立劇場で世界初演された。17年から東京芸術劇場で開催の「ボンクリ・フェス」アーティスティック・ディレクターを務める。23年に4度目となる尾高賞を受賞。近年の活動はリモート演奏のための作品発表や、テレビ番組の作曲依頼等多岐に渡る。録音はソニー・ミュージックジャパンインターナショナルや Minabel Records から、楽譜はリコルディ・ベルリンから出版。

ホームページ : <https://www.daifujikura.com>

【国際交流基金について】

国際交流基金は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を推進する独立行政法人です。

25 か国・26 の海外事務所と、国内の附属機関・支部を足がかりに、世界各国の在外公館、日本語教育機関や文化交流機関等と緊密に連携をとりながら、グローバルに活動を展開しています。

韓国では、ソウル日本文化センターを拠点に、文化芸術交流事業、日本語教育支援事業、日本研究事業を展開しています。



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

国際交流基金 公式ウェブサイト : <https://www.jpf.go.jp/>

国際交流基金 ソウル日本文化センター 公式ウェブサイト : <https://www.jpf.go.kr/>

以上